住友電線では今日は怠業状態

第二の嘆願書提出して刎付らる

住友電線製造所に於て嘆願却下されたる職工等は更に要求書を作製し即ち前嘆願書の続一條職工側臨時協定工場設備及就業協定労働條件の協定と職工側との交渉に関し職工を代表する事と為し本日午前十時に提出したが会社に於ては会社と協定の余地なく前回の回答より一歩も譲る能はずと回答しその刹那より工場は機械のみ運転し全く怠業状態になつた尚職工側の交渉委員は川上職工外十人、佐伯、本間三氏の両名で佐伯氏である右要求書の回答期は明日午前十時である

住友製鋼所は

要求書の中に解雇工の名が

有るから刎ねられ刎ねられで回答は付けられない

住友製鋼所に於ては職工等は代表委員と選び川上、大矢、山本、外五名の委員が本日午後五時に要求書を提出したが会社側は交渉を開始するに当り工場内部の解雇職工の名が有るので会社側は之に応ずる事は出来ぬとして同要求書を拒否したので形勢は不穏である

工場門前小争闘

住友製鋼所に於ては昨夕工場内に解雇職工が山内の外出を禁じて居たので職工等の間に同日午前七時ごろ紛擾を生じたが間もなく鎮まつた

読者から

藤永田争議

◇藤永田造船所労働争議に関して聊か小生の感想を述べさして戴きたいと思ひます。

◇先第一に、労働者が、其の悲惨なる境遇に支配されつゝある事を自覚して資本家に要求書を出した。

◇然るに冷淡なる資本家は何等の回答をもせず、直ちに内々警察官に其の苦情を訴へたらしかつた、我々労働者を監督したる其の態度に憤慨せざるを得ない。

◇労働者の最も有力なる武器は同盟罷業であるから遂に彼等は同盟罷業を以て戦を開始した、その間に實行委員を選びて会社に回答を申出たが誰も応じなかつた。

◇所が官憲は此現象を労働者の思想の悪化であるかの如くに早呑込して早速治安警察法第十七條を利用して首謀者を全部召喚し其検束した。

◇労働運動に対して何等の理解無き官憲の為に無惨にも若茶に壓迫されたのだ、それが為に悲惨なる職工は其の結果が猛烈に昂つて来たは當然ではなからうか。

◇若しも警察が穏健な態度に出たならばかくも多数の犠牲者は無かつたかも知れない。

◇労働運動に対して官憲が常に資本家側とのみ協調を保つに努め苦も労働者側を顧慮せず徒に壓迫したから今日迄問題は解決しないのではなからうか（一職工）

しも暴力団並の振舞りとなつたのを敵局者の刑事に取押へられ取調べの結果両名共放還された、職工側は武器ではない護身用拳銃だと主張して居る間に総裁は十四日職工総裁の部下で藤田加藤を短刀で斬つた総裁の罪を為だと

大阪府警察部刑事等は職工数十余名を監視して警戒に努めたが職工側は総裁七、武内保両氏指揮の下に員に自の支部旗を立て大阪府を作つて前日来の代表者の釈放を陳情し一方藤永田に向つた交渉委員の帰着を待ち

更に第二の争議を計画せんとした本日午後両の職場時間を廃した因に職工側は出来得る限りの要求を節約して前日来食事の如き握飯に満足で僅かに飢を凌ぎ闘志勃々として其の意気に努めつゝあることを申合はした

因に藤永田職工側は明十七日更に天王寺公会堂で第二十日の団体大会を催すと

拳銃で威す

十六日午前八時半頃大阪市西区南恩加島町の藤永田職工の一行に紛れ込んで職工ら来てゐる職工を仲間に加へ拳銃を持たせてゐる

裏切者の職工名を（藤永田）の一部が悉く調べて居る所へ一名の職工が裏切者として出た矢野某の一行が用意の拳銃を持つて迫り自然職工の七名が逃込んだ